

講義コード	1BD0040001
講義名称	PBL応用II 01<春集>
科目英文名	Practice of Project Based Learning II
開講責任部署	ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科
代表ナンバリングコード	BUSA2920
単位数	4.0
時間割	春学期: 水曜日 1 時限, 春学期: 水曜日 2 時限
講義開講時期	春学期

担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 大村 鍾太	月曜2限	ohmura@andrew.ac.jp	5H

授業形態	講義	実習	アクティブラーニング
	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク
	実務経験のある教員による授業①		

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。		
	小レポート/小テスト	宿題(演習問題、e-learning等)	ディスカッション(話し合い)
	プレゼンテーション(発表)	協同・協調学習(グループ・ワーク、チームワーク、ペアワーク)	課題解決

講義・演習概要	<p>PBLを通じ、取り組む課題の設定とビジネスを通じた解決策の提案を学生主体で行うことで、チームの目標達成に向けたリーダーシップの発揮と効果的なチーム運営の要諦を学ぶ。学生は少人数（4～5名）のチームを作り、連携企業の事業目的達成に繋がるプロジェクトテーマについて調査・議論・考察を繰り返し、期限内にプランとプレゼンテーション資料を完成させて発表する。その過程で、PBL以外の授業で学んだ知識や情報も、プロジェクトの目的に応じて学生が自在に活用できるようにすることを目指す。</p> <p>「PBL応用」では、学生自身が自ら課題を設定することにより、取り組みの難易度を「PBL入門」より上げ、「主体性」をさらに引き出すことを意図する。担当教員とは別に、各クラスには、学生の求めに応じて適宜支援を行うために先輩学生アシスタント（Learning Assistant）と連携先企業の社会人が就き、ともに学ぶスタイルを進める。</p> <p>また、「PBL応用II」においては、BD学部での2年次までの学びの集大成として、ビジネス立案する上で有用なフレームワークを目的に応じて、主体的に使い分けられるようになることを目指す。</p>
学習（到達）目標	<p>本授業では、ディプロマ・ポリシーに掲げる、「課題解決に必要な幅広い知識・技能、論理的思考力・判断力・表現力」「取り組むべき社会の課題を発見し、その解決策を考え出し、実行することで、社会に対して持続的に価値を創造する力」「自ら行動し、関係する人々と協働できる高度なコミュニケーション力とリーダーシップ」「新たな価値を創造するために、必要な感性や美意識などの教養」「ビジネスを実現するために、現実において粘り強くやり抜く力」を幅広く磨く。</p>

講義・演習計画

回	内容
第1回	【対面】オリエンテーション クラスビルディング PBLを通じた目的の確認
第2回	【対面】オリエンテーション クラスビルディング PBLを通じた目的の確認
第3回	【対面】グループワーク演習 ～右脳と左脳、固定観念の解放、創造性と論理性～
第4回	【対面】グループワーク演習 ～右脳と左脳、固定観念の解放、創造性と論理性～
第5回	【対面】プロジェクトテーマに関するディスカッション
第6回	【対面】プロジェクトテーマに関するディスカッション
第7回	【対面】プロジェクトの背景と関係する人々をイメージする
第8回	【対面】プロジェクトの背景と関係する人々をイメージする
第9回	【対面】チームを立ち上げる。事業環境、課題、新たな機会を探る。
第10回	【対面】チームを立ち上げる。事業環境、課題、新たな機会を探る。

第11回	【対面】クライアントやゲストとのディスカッション、仮説の検証、アイデアの磨き込み
第12回	【対面】クライアントやゲストとのディスカッション、仮説の検証、アイデアの磨き込み
第13回	【対面】プロジェクトワーク 利用者、カスタマーの声からアイデアを生み出す
第14回	【対面】プロジェクトワーク 利用者、カスタマーの声からアイデアを生み出す
第15回	【対面】クラス横断レビュー アイディアをホワイトボードで発表し、相互にフィードバック！
第16回	【対面】クラス横断レビュー アイディアをホワイトボードで発表し、相互にフィードバック！
第17回	【対面】プロジェクトワーク チーム振り返りと、ビジネスアイデアの全体像考案
第18回	【対面】プロジェクトワーク チーム振り返りと、ビジネスアイデアの全体像考案
第19回	【対面】プロジェクトワーク ビジネスアイデアの質を高める
第20回	【対面】プロジェクトワーク ビジネスアイデアの質を高める
第21回	【対面】レビュー会（プレゼン形式）クライアント/ゲストへの発表と対話, ビジネスモデル
第22回	【対面】レビュー会（プレゼン形式）クライアント/ゲストへの発表と対話, ビジネスモデル
第23回	【対面】プロジェクトワーク、ビジネスモデル、収益化 プレゼンテーションの磨き込み
第24回	【対面】プロジェクトワーク、ビジネスモデル、収益化 プレゼンテーションの磨き込み
第25回	【対面】予選 実施
第26回	【対面】予選 振り返り、リーダーシップ行動とチーム状態の振り返り、やり抜く力の発揮
第27回	【対面】本選 実施
第28回	【対面】本選振り返り
第29回	【対面】PBL応用II 振り返り
第30回	【対面】総括、まとめ、次のステップに向けて

成績評価の方法（割合）

「成績評価の方法（コメント）」についても合わせてご確認ください。

試験	0%
レポート	30%
その他	70%

成績評価の方法（コメント）	<ul style="list-style-type: none"> ・授業全体における参加度、参加姿勢、貢献の質：35% ・プロジェクト活動としての成果：35% ・提出物の提出率と質：30% <p>4回以上欠席すると、科目の特性上、成績評価が困難となり、単位認定されない可能性があるので注意すること。</p>
---------------	--

事前および事後学習の指示	翌週授業までの課題がある場合は、授業時間内または授業直後に提示する。
その他備考（担当教員用）	受講生の理解度・関心度、作業進捗、クライアント企業のスケジュールなどに応じ、一部上記計画と内容・順番が異なる場合がある。授業で説明するので、それに基づいた全体のスケジュールを把握しながら、チームで成果を出すためのリーダーシップ行動を行うこと。